

令和6年度策定　杉上校区社協行動計画書

杉上校区社会福祉協議会

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取組み（条件づくり）	校区社協として取組
全世代が繋が り支えあえる校 区・杉上	高齢者が安心して 過ごせるまち 生き生きと	高齢者	・足が悪い方が集いの場まで行けない ・交通手段がない	・サロンがあっても公民館までは遠い人の対策が少ない ・免許返納等で買い物にも行けない、移動販売車では不足する ・気軽に立ち寄れる施設がないため閉じこもりがちになる（活動範囲が狭くなる）	・高齢者の総合相談窓口　ささえりあ城南の周知 ・地域サロン等の通いの場の積極的な活用及び情報周知 ・地域のサロン活動の充実	・各地区サロン活動へ支援の充実を図る ・独居老人ふれあい昼食会の継続
			・認知症高齢者の機能低下	・認知力が低下すると共に行動力が低下している ・周囲にもっと知ってもらうにはどうしたらいいかわからない	・認知症について学ぶ機会を設ける ・地域の各種団体や専門機関との連携を図る	・民生委員と連携して一人暮らし高齢者への弁当配布を行うことにより安否確認を含め生活状況を把握する
		障がい児・者	・障がい児・者の情報把握	・個人情報の関係で情報が不足している ・問題や課題を持った人を把握することが難しい	・近隣住民同士で顔の見える関係づくり ・相談窓口等の相談機関に関する情報周知（情報発信）を図る	・地域コミセン祭り、社協福祉まつり合同開催の継続
	安心して子育てし やすいまち	子ども・子育て	・安心して屋外で遊べる環境が必要	・夏休み時など公民館を自由開放して欲しい（子どもと高齢者の交流の場となる） ・ゲームで外に出ることが少なく、話す機会がない	・子育て支援ネットワークでの情報共有、子育て支援活動の展開 ・地域活動の継続、拡大 ・昔遊び、モルックなどのニュースポーツ、eスポーツ等による交流促進	・子育てサークルへの支援充実を図る ・赤ちゃんが生まれた世帯に対し民生委員と連携したクオカード配布事業の取組みを継続
			・子ども・子育て世帯への見守り	・夫婦共働きで家庭教育が乏しい ・個人情報の問題があり把握が難しい（孤立と貧困問題）	・日頃からの声かけや見守り活動の継続（支援が必要な方の早期発見） ・行政（学校、保健こども課等）や地域との関係機関との連携	・学校や関係機関との連携強化
	住民みんなで協 力し合える まちづくり	災害・防災	・防災に対する意識の向上	・避難所までが遠く移動が難しい ・地震・台風・大雨と災害状況に応じた避難を各家庭で考える必要がある ・熊本地震を経験したが段々忘れようとしている	・防災について学ぶ（情報発信・周知）機会をつくる ・日頃からの声かけ、見守りの継続・拡大 ・備蓄品の準備	・校区防災連絡会や関係機関との連携 ・震災対処訓練への参加・協力
			・災害時における避難情報の伝達	・大雨と地震の避難所は別がよい ・要配慮者が避難をしないと判断した場合の対応（安否確認）	・震災対処訓練の実施 ・避難行動要支援者制度の周知・啓発	・災害時の避難者に対する支援を行う
	誰もが心豊かに 暮らす	暮らし全般	・隣近所との関係性の希薄化	・若い家族や転入者等とのコミュニケーションが取りづらい	・地域活動や行事等の情報発信（PR活動） ・若い世代へ行事や事業の周知（SNS活用）	・情報発信の取組みについて地域団体との連携を図る
			・地域役員の担い手が少ない ・地域の環境・治安	・地域行事をしても地域住民自体の参加者が少ない ・運営への協力を得る事が困難、担い手の高齢化 ・自宅周辺の雑草などの対策、ボランティアもいない ・環境整備(草刈り)を定期的に実施したいが予算がない ・古紙の持ち去りがある	・住民へ地域団体や活動の情報発信の継続	・社協だよりの発行